

第89回福島県中央メーデー

4月28日(土) あづま総合運動公園

働く者の処遇改善から格差是正、社会構造の改革へと発展させる!

～あづま総合運動公園に約2,900名が結集～



主催者挨拶・今野泰実行委員長

第89回福島県中央メーデーは4月28日(土)、暖かい春の陽気の中、あづま総合運動公園に連合福島並びに労福協傘下の組合員など、約2900名の仲間が結集して開催された。主催者を代表し、今野泰実行委員長は、春闘の成果、働き方改革の課題、そして政治課題にふれたのち「福島県は未だ風評被害を始め課題が山積し、少子高齢・人口減少、とりわけ転出超過が復興創生の取り組みを難しくしている。働く者の環境や処遇改善から格差是正、社会構造の改革へと発展させるためオール福島そのプラットフォームを担う連合福島の運動領域の必要性、重要性は増してきている。構成組織・組合員皆様のご理解とご協力をお願いしたい」と挨拶をした。



来賓挨拶・左から、内堀雅雄福島県知事、木幡浩福島市長、金子恵美衆議院議員、紺野長人県議会議員



式典に参加された構成組織の皆さん

その後、内堀雅雄福島県知事、木幡浩福島市長、金子恵美民進党県連代表代行、紺野長人社民党県連代表からお祝いの言葉を頂戴し、メーデー宣言の採択、決議文の手交を行った後に、式典の最後を今野実行委員長の力強いガンバロー三唱で締めくくった。式典終了後、引き続きアピールコンテストの表彰式が行われ、自治労・県職連合がそのアピール度を評価され見事、最優秀賞に輝いた。さらに、豪華賞品が当たるお楽しみ抽選会では、当選された方々が満面の笑みで喜びを表現していた。イベントでは、県内で活躍しているアイドルユニット「マジカルバルルーンYes」のパフォーマンス、仮面ライダーエグゼイトとの撮影会&握手会など、大いに盛り上がりを見せた、さらにはドローン操縦体験コーナーや福島第一原子力発電所水中調査ロボットの展示コーナーや、ふあふあ遊具やミニ鉄道、地元の農産物販売、授産施設作品展示即販売会などの多くのテントが出店し、暖かい天候も手伝って大盛況のメーデーとなった。



今野実行委員長の発声で、力強くガンバロー三唱